

第3次印西市環境基本計画の策定基本方針（案）

1 計画策定の趣旨

本市では、環境の保全に関する理念や基本的な事項を定めた印西市環境基本条例に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に進めることを目的とした印西市環境基本計画を平成15（2003）年3月に策定しました。

その後、平成22（2010）年3月の印旛村・本埜村との合併により、新たな印西市として、先人が守り育ててきた自然や歴史ある風土を引き継ぐとともに、より良い環境づくりを目指すため、平成25（2013）年3月に第2次印西市環境基本計画（以下「第2次計画」という。）を策定し、環境の保全に関する各種施策を推進してきました。

しかしながら、近年では、SDGs（持続可能な開発目標）の実現や2050年カーボンニュートラルに向けた世界的な動きとともに、国内においても、気候変動適応法や食品ロスの削減の推進に関する法律などの新たな法整備が進められており、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中、第2次計画の計画期間が令和3（2021）年度をもって終了することから、第2次計画の成果や課題を踏まえ、社会経済情勢の変化による新たな環境課題に応じた環境の保全に関する施策を市民・事業者・市の三者が一体となって総合的かつ計画的に推進するため、令和4（2022）年度を初年度とする新たな計画として、第3次印西市環境基本計画（以下「本計画」という。）を策定します。

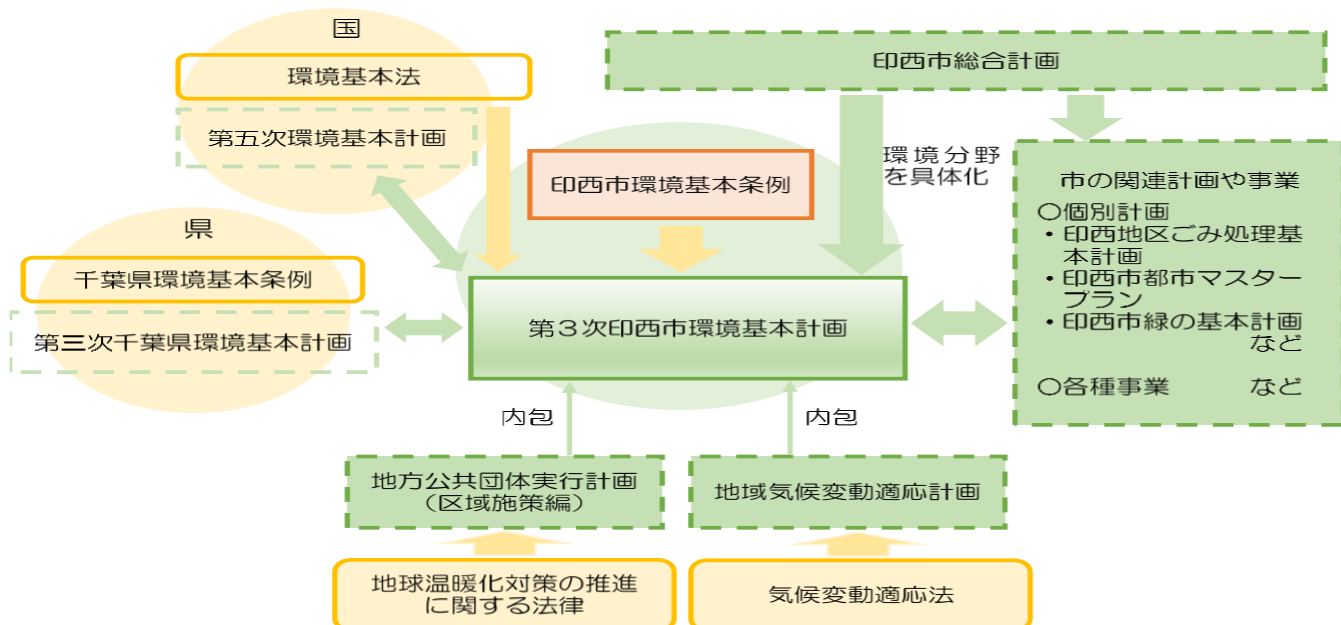
2 計画の位置付け及び策定にあたっての基本的視点

本計画は、印西市環境基本条例に基づき策定するもので、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的としています。

また、令和3（2021）年3月に策定された印西市総合計画の将来都市像「住みよさ実感都市 ずっとこのまち いんざいで」を環境の面から実現していくための環境分野における最も基本となる計画です。

本計画の策定にあたっては、国・県の環境基本計画等と整合を図るとともに、本市の各種関連計画における施策と連携を図ります。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「地方公共団体実行計画（区域施策編）」及び気候変動適応法に基づく「地域気候変動適応計画」に相当する内容や食品ロス及び海洋プラスチック問題に対応した内容を盛り込むことで、地球環境分野の取組の充実を図るとともに、SDGsの考え方を活用し、環境の面からの複数課題の同時解決を目指します。



3 計画期間

本計画の期間は、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間とします。

ただし、社会経済情勢や国・県などの関連計画の変化等に合わせ、必要に応じて計画の見直しを行います。

4 策定体制

(1) 環境審議会

印西市環境審議会条例に基づき設置している環境審議会において、本計画の策定に向けた審議を行います。

環境審議会は、学識経験者、関係行政機関職員、各種団体代表及び公募市民によって構成され、市長の諮問に応じて、本計画の策定に関する事項、その他市の環境の保全に関する基本的事項について、多面的・専門的に調査審議します。

(2) 市民参加

環境審議会からの意見のほか、市民や事業者で組織する環境推進会議において、より実践的な取組等について検討します。

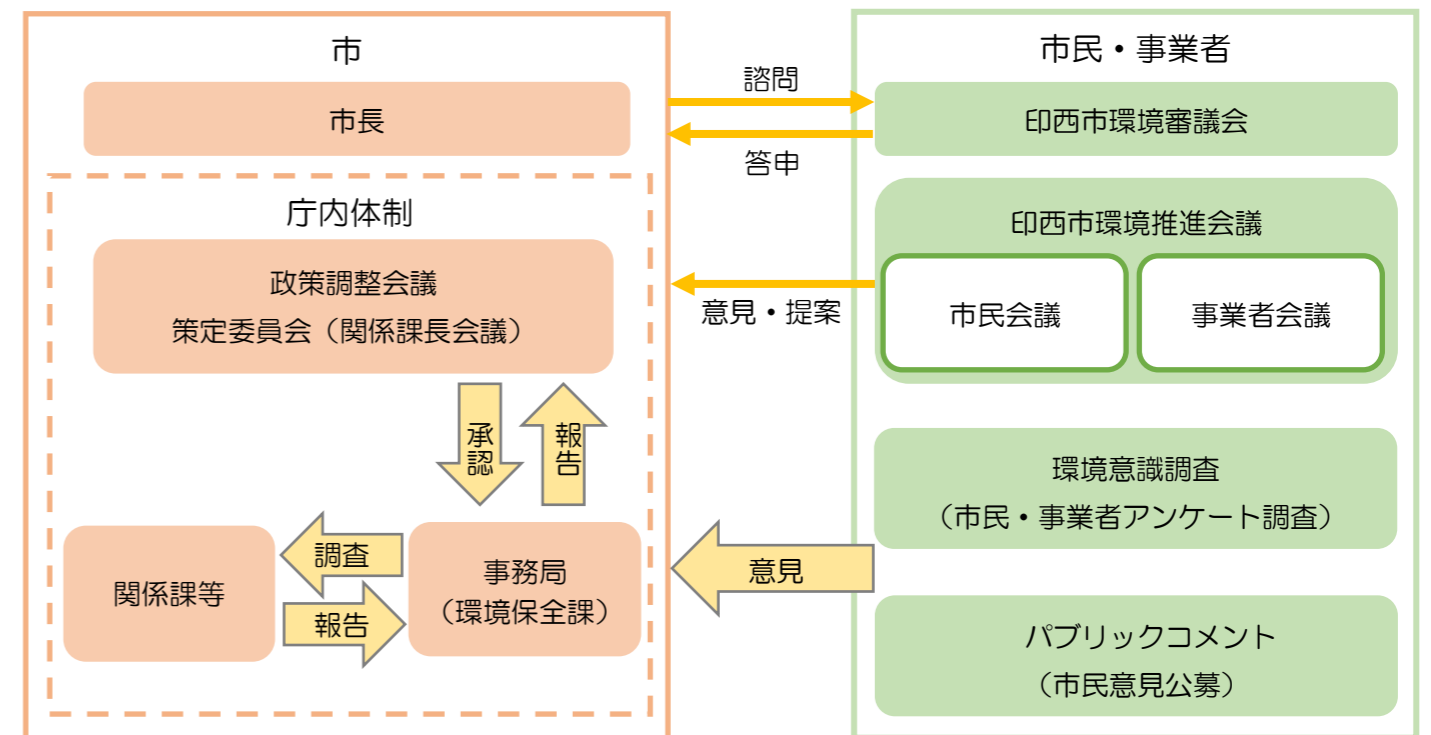
また、事前に環境に関するアンケート調査を行うとともに、計画案の作成段階でパブリックコメント（市民意見公募）を実施するなど、市民意見の反映に努めます。

(3) 庁内体制

本計画の策定にあたっては、関係課の長等で組織する環境基本計画策定委員会を設置し策定作業を進めます。

また、策定作業を円滑に進めるため、必要に応じて既存の庁議を活用します。

【策定体制図】



策定スケジュール（案）

令和3年	4月	第1回策定委員会（策定基本方針（案）・骨子案について）
	5月	政策調整会議（策定基本方針について）
	5月	第1回環境推進会議（策定基本方針・骨子案について）
	5月	第1回環境審議会 （計画について（諮問）、策定基本方針・骨子案について）
	7月	政策調整会議（骨子）
7月～	8月	第2回策定委員会、第3回環境推進会議、第2回環境審議会 （計画素案（たたき台）について）
	8月	第3回環境推進会議（市民・事業者行動指針について）
10月～	11月	第3回策定委員会、第4回環境推進会議、第3回環境審議会 （計画素案について）
11月～	12月	市民意見公募（パブリックコメント）
令和4年	1月	第4回策定委員会、第5回環境推進会議（計画案について）
	1月	第4回環境審議会（計画案について、計画について（答申））

※各課との連絡調整を適宜行う。